

## 記者発表資料

**長野国道事務所発注工事において  
「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」「見積活用方式」  
「余裕期間制度」を試行します。  
併せて「難工事指定」「施工箇所が点在する積算方法」を採用します。**

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調・不落対策を試行しております。

今回発注する「R2国道19号新山清路橋外橋梁補修工事」及び「R2国道20号東山橋外橋梁補修工事」については、公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）の試行を行うとともに、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じていることが予想されること、また、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、以下②、③を試行し、併せて④、⑤を採用します。

### ①「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

### ②「見積活用方式」

本工事は、渡河部での施工となるため、作業ヤードに制限があり作業効率の低下が懸念されます。このため、入札者から見積の提出を求め、その価格の妥当性を検証のうえ、予定価格に反映する「見積活用方式」を採用します。

見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予想される工種より選定しています。

### ③「余裕期間制度」

本工事は、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定できる「余裕期間制度」を採用します。

### ④「難工事指定」

本工事は、工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加算対象とする「難工事指定」を採用します。

### ⑤「施工箇所が点在する積算方法」

本工事は、施工箇所が点在することから、建設機械を運搬する費用や交通規制等がそれぞれの箇所発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が考えられることから、工事箇所毎に共通仮設費、現場管理費の算出を行う「施工箇所が点在する積算方法」を採用します。

### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、長野市政記者クラブ、長野市政記者会、長野県庁会見場

### 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 長野国道事務所 電話 026-264-7001（代表）  
副所長（技） 畦地 拓也（あぜち たくや） 管理第二課長 高橋 明（たかはし あきら）

## 《工事概要》

- (1) 工事名：①R2国道19号新山清路橋外橋梁補修工事  
②R2国道20号東山橋外橋梁補修工事
- (2) 工事場所：①長野県東筑摩郡生坂村東広津地先外  
②長野県塩尻市大字旧塩尻東山地先外
- (3) 工期：①②契約の翌日から令和3年8月31日まで
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
- (5) 工事種別：①②維持修繕工事
- (6) 工事内容（概要）

### ①橋梁補修工

落橋防止装置工	1式
伸縮装置取替工	1式
ひび割れ補修工	1式
断面修復工	1式
橋面防水工	1式
仮設工	1式

### ②橋梁補修工

伸縮装置取替工	1式
ひび割れ補修工	1式
断面修復工	1式
橋面防水工	1式
橋面舗装工	1式
部材取替工	1式
仮設工	1式

## 《公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）の試行について》

競争参加者が少数と見込まれる対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

## 《見積活用方式について》

### ○見積の提出を求める工種

- ・直接工事費のうち、橋梁補修工（ひび割れ補強工、断面修復工）に係るもの。

### ○見積の提出を求める理由

本工事は、国道19号新山清路橋外における橋梁補修工事です。

施工にあたっては、渡河部での施工となるため、作業ヤードに制限があり作業効率の低下が想定されることから、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者から見積提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積積算方式」を採用します。

### 《余裕期間制度について》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働力確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、契約時に令和3年8月31日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

### 《難工事指定について》

本工事は、施工箇所が点在する工事であることから、「難工事指定」を採用します。

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

### 《施工箇所が点在する積算方法について》

#### ① 点在する工事箇所

- ・新山清路橋、山清路3号側道橋下り、山清路3号側道橋上り、山清路4号側道橋、山清路5号側道橋上り（長野県東筑摩郡生坂村東広津地先）
- ・水篠橋（長野県長野市信州新町水内地先）

#### ② 点在する工事箇所

- ・切掛橋側道橋下り（長野県諏訪郡富士見町落合地先）
- ・上諏訪第4橋（長野県諏訪市四賀地先）
- ・東山橋（長野県塩尻市旧塩尻地先）
- ・新池沢橋（長野県東筑摩郡生坂村下生野地先）

### 《スケジュール》

- 入札公告、入札説明書、見積依頼書の交付 : 令和3年1月13日（水）
- 技術資料等、見積書の提出期限 : 令和3年1月29日（金）
- 入札書、工事費内訳書の提出期限 : 令和3年2月26日（金）
- 開札日 : 令和3年3月 3日（水）

# 公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は  
一般土木  
C,B+C工事  
維持修繕等

## 【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出  
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮  
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **指名競争・総合評価落札方式**  
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

**公示**  
(工事内容・入札時期・落札方式等)

工事参加希望の意思確認・技術資料の提出  
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)

参加要件は企業とし、  
技術者要件は求めない

指名基準による選定

**発注(指名通知)**

以降は指名競争・総合評価  
落札方式の手続き

**指名競争・総合評価落札方式により落札決定**

標準点100点+加算点(10点)+施工体制  
評価点(30点)÷入札価格=評価値  
※加算点は災害活動実績

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

災害協定の締結や活動に  
係るインセンティブの向上